

SomaFelice関西

シャキッと 発表会

2026.6.21 (Sontag) 13:00 開場 13:30 開演
奏 美 ホール



Staying too long in the depths can become boring. Staying too long in the superficial soon becomes banal. Staying too long on the heights may be intolerable. We must move all the time.

深みに留まりすぎると退屈になることがあります。浅いところに留まりすぎると、やがて凡庸になります。高みに留まりすぎるのは、耐えられないかもしれません。私たちはたえず動いているべきなのです。

(Peter Brook “The Open Door 秘密はなにもない”より)

ごあいさつ

川井弘子

音楽は時間の芸術である。だから、それは日常でもある。すると、その日常が音楽することを助けたり、邪魔したりする。今日も、歌うはずだったのに出演できなくなった人がいる。残念。せっかく今日のために準備したのに。自分のことではなく、家族のこと。

ある人が「落ち込んだ」という。なぜなら、せっかくなまく歌えたと思ったら、またレッスンで「違う」と言われたからだという。言われたことがすぐにできないと。一歩進んで二歩下がるところか、一歩も進まないで後ろと横にだけ行くときだってある。自分ではそんなものだろう。

ある人は「うまく歌えるようになってきた」と得意気である。でも、本当にそうか？私はそうは思わないけど。そうなのだ、いくら作りたてたって、そこに自分がなければ、ただきれいに取っつくろうだけでは、音楽とは言えない。「からだ」が、“*Wesen* (=本質/存在)”が、そこにはないのだ。あるのは、虚栄とかエゴの自己満足の世界である。それに付き合わさされるほど、疲れることはない。

「できない」ことは悪いことではない。そのうちできるようになるに違いない。よくないのは「できていると思い込んでいる」ことの方だ。今日の発表会では、表面的に取りつくろったり、かっこよくまとめたりすることを、ギリギリまで許さないレッスンをしてきた。なぜなら、発表会は一つの通過点であって先に続くからだ。通過点は通過すればよい。そう、ベストを尽くし、自分のからだに声にきちんと向き合って。

でもよくあるのは、かなり無理をして、自分をごまかしながら、むやみやたらにがんばることだ。なぜなら、それなら「できなかった」「うまくいかなかった」としても、「よくがんばったんだから」と自分にも言い訳がつくからだ。なんだか間違っていないか？

そう、間違っている。そこには芸術はない。歌う側も、聴く側も、楽しくない。楽しそうな感じが醸し出されているけれど。楽しいのは、その人がそこに居るからだ。他の誰でもない、その人が歌っているからだ。そんなほのぼのとした歌を、今日は一人一人が歌うに違いない。そしてそれにそっと耳を傾けることで、歌う人も、耳を傾けた人も、何かを得て、明日はきっとよいことが起こるだろう。そうやって時間が進んでいく。すてきなことではないか！

指導・SomaFeliceの会主宰：川井弘子

倉敷市生まれ。広島大学卒業、東京学芸大学大学院修了後、ドイツとオランダで声楽を、スイスでアレクサンダー・テクニークを、アメリカで *Body Mapping* を学んだリリック・ソプラノ。3冊の著書もあり、『うまく歌える「からだ」のつかいかた』（誠信書房）は2015年に出版以来、音楽書のベストセラー、この6月で12刷の異例のロングセラー。毎年のリサイタル活動と指導を両立させ、京都でも毎月、レッスンや講座を開催している。今年の《川井弘子ソプラノリサイタル～憩いと愛をはこぶⅡ》は9/18(金)横浜、10/18(日)15時パロックザール（《(公財) 青山音楽財団助成公演》）。

Le Temps qui ne connaît ni son but, ni sa source,
Mais rencontre toujours des soleils dans sa course
Tombe de l'urne bleue intarissablement !

Jules Laforgue

自分の行く先も どこから来たのかも知らない〈時〉
しかし進んで行きながらつねに太陽と出会う〈時〉が
青い甕から尽きることなく滴りおちてくる

ジュール・ラフォルグ「尽きることなく」より

吉田加南子訳

Program

《第1部：誠実と愛と苦悩～ドイツ》

F.Schubert : aus “Winterreise” (連作歌曲集「冬の旅」より)

Auf dem Flusse 川の上で
Rückblick かえりみ
Frühlingstraum 春の夢
Einsamkeit 孤独

Tenor : 古川裕介
Piano : 小枝佳世

Die Krähe 鴉
Gefrorene Träne 凍った涙
Erstarrung 氷結
Der Lindenbaum リンデの樹
Wasseflut 雪解けの水流
Die Post 郵便馬車

Tenor : 和田宏一

J.S.Bach : Kantate Nr.170 (カンタータ第170番より)

Countertenor : 向井正宏

- 1.Vernügte Ruh, beliebte Seelenlust (Aria) 満ち足りる喜び、嬉しき魂の喜びよ
- 4.Wer sollte demnach wohl (Recitativ) では、誰がこの世で生きたいと願うだろう
- 5.Mir ekelt mehr zu leben (Aria) これ以上生きることを私は厭う

F.Schubert :

Tenor : 古川裕介

Ständchen セレナード
Gute Nacht おやすみ

aus “Winterreise” (連作歌曲集「冬の旅」より)



～Pause～

《第2部：敬虔と愉快～イタリア》

Giordani : Caro mio ben いとしい人よ

Soprano : 黒川佳子

Schubert : Ellens Gesang III/Ave Maria エレンの歌 第三/アヴェ・マリア

W.A.Mozart : Ridente la calma 微笑むような静けさが
山田耕筈 : 蒼き臥床をわれ飾る

Soprano : 小川明子

Vivaldi : “Stabat Mater” 「悲しみの聖母は立っていた」より **Countertenor : 向井正宏**
Stabat Mater dolorosa 悲しみの聖母は立っていた
Cuius animam 嘆く聖母の魂を
O quam tristis おお、どれほど嘆き、傷ついたことか

V.Bellini : Dolente immagine di Fille mia フィッリデの悲しげな姿よ **Tenor : 植村浩之**
Il fervido desiderio 熱烈な願い
G.Donizetti : Una lacrima 一粒の涙
G.Rossini : Il rimprovero 叱責
L'invito 誘い

G.Rossini : La partenza 別れ **Tenor : 和田宏一**
La gita in gondola ゴンドラに乗って

G.Rossini : L'orgia 饗宴 **Tenor : 古川裕介**
La danza 踊り

～ Pause ～



《第3部：哀愁～イタリア・フランス・ドイツ・日本》

W.A.Mozart : E Susanna non vien ? ～Dove sono i bei momenti
スザンナは来ないわ？～あの美しい日々はどこへ **Soprano : 中川佐和子**
(オペラ「フィガロの結婚」より 伯爵夫人のアリア) **Piano : 竹山千晶**

A.Caldara : Sebben crudele たとえつれなくとも **Mezzo Soprano : 黒田淑子**
山田耕筰：曼珠沙華 **Piano : 和田宏一**

中田喜直：さくら横ちょう **Soprano : 松本文子**
F.P.Tosti : Tormento 苦しみ **Piano : 小枝佳世**

W.A.Mozart : Oiseaux, tous les ans 鳥よ、年ごとに **Soprano : 白島 晶**
Dans bois solitaire 寂しい森の中で
C.Debussy : Mandoline マンドリン
C'est l'extase langoureuse それは物憂い恍惚感

R.Strauss : Allerseelen 万霊節 **Soprano : 伊藤まり子**
W.A.Mozart : Una donna a quindici anni 十五にもなった女性なら
(オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」より デスピーナのアリア)